

令和4年度事業報告書

(実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日)

【実施事業】

継続事業1：動物愛護思想の普及推進に関する事業

動物愛護週間行事推進のための事業、支部事業（動物愛護教室、犬と猫の飼い方教室、動物ふれあい訪問活動、飼い主を対象としたペットの災害対策研修会）、猫の適正管理推進モデル事業、ポッチとニャンチの愛の伝言板設置・運営事業、動物愛護に関する啓発・広報活動事業、動物愛護相談事業、動物保護管理指導員活動事業、静岡県被災動物救護計画等推進のための事業

継続事業2：動物の保護及び管理に関する事業

動物保護業務等受託事業、負傷動物等保護収容措置事業、静岡県動物管理指導センター週休日管理事業、犬・猫適正飼養等相談業務、静岡市動物愛護館管理事業、静岡市動物指導センターにおける土曜日動物火葬受付業務

I 実施事業等の状況

令和4年度は実施計画に基づき、以下のとおり実施した。

[継続1]

1 動物愛護思想の普及推進に関する事業

(1) 動物愛護週間関連事業の実施

ア 動物愛護フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症拡大防止及びフェスティバルの企画について調整が整わず中止したが、動物愛護絵画・作文コンクール入賞作品の展示会については、県内各地で開催・展示した。

イ 動物保護功労・動物愛護功労者等の表彰

動物の保護や動物愛護思想の普及啓発に特に功績のあった個人を表彰した。

(一社) 静岡県動物保護協会長表彰

【動物保護功労】 5名

【動物愛護功労】 1名

【長寿動物飼養功労者】 犬の飼養 2名

ウ 令和4年度（第46回）小・中学生動物愛護絵画・作文コンクールの開催

動物とのふれあいやその飼養経験は、児童・生徒が思いやりを持ち心豊かに育っていくうえで貴重な経験となる。このため、動物愛護絵画・作文コンクールを通じて、身近な動物とのふれあいの中で感じたことを絵画・作文として表現することにより、動物愛護の気持ちが更に深まることを目的として、県下の小・中学生を対象に毎年度開催している。

①募集期間：令和4年6月から9月5日まで

②応募状況と優秀賞作品数

絵画の部 1,099点(小学生 849点、中学生 250点)

作文の部 817点(小学生 183点、中学生 634点)

③受賞状況

県知事賞、県議会議長賞、(一社)静岡県動物保護協会会長賞など7賞を授与。

エ 動物愛護思想の普及啓発のためのチラシ配布

動物愛護思想を普及・啓発するため、わかりやすいチラシを作成・配布した。

・印刷した啓発資材及び部数

人と動物がなかよくくらす しずおかけん 30,000枚

・配布場所：県・保健所、市町会員34ヶ所、動物保護管理指導員など

(2) 小・中学生動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品集の発刊

動物愛護絵画・作文コンクールの受賞作品をまとめた優秀作品集を発刊し多くの方に閲覧してもらうことで、動物愛護意識の普及啓発に努めた。2月に1,100部を発刊・配布した。

(3) 地域猫セミナーの開催

地域猫活動をよりスムーズに行えるよう、現地に入って、地域住民や町内会との調整、さらに、行政との連携の重要性や地域猫活動を進めるに当たっての心構え、注意点などについて理解するためのセミナーを開催した。

日 時 令和4年10月5日(水) 14:00~16:00

会 場 オンラインセミナー

演 題 「地域猫活動の進め方」

(4) 支部事業

令和4年度当初は新型コロナウイルス感染症も落ち着き各種事業を開催したが、7月末からの感染者急増と8月9日からの静岡県「BA.5 対策強化宣言」の発令、さらに、実施期間の9月30日までの延長により、予定していた愛護教室やふれあい訪問などが中止に追い込まれた。

その後の「BA.5 対策強化宣言」地域の解除を受けて11月から新型コロナ対策を行ったうえで、順次再開し、昨年度を大幅に上回る実施件数となった。

ア 動物愛護教室の開催

児童・生徒を対象に動物の生態、習性を通してその適正な飼養・管理や危害防止等を学ぶとともに、生命を大切にす優しい心を育てることを目的として開催。

開催状況：18市町で31回開催

受講者等：1,787名

イ 犬と猫の飼い方教室の開催

人と動物との共生を目指して社会性のある犬の育て方や猫の習性などの知識を学び、適正な飼養管理の普及・向上を図ることを目的として開催。

開催状況：3市で4回開催

受講者等：56名

ウ 社会福祉施設での動物ふれあい訪問活動

社会福祉施設の入居者を対象に動物を通して潤いと安らぎを感じてもらうことを目的に、ボランティア団体等の協力を得て動物ふれあい訪問活動を実施。

開催状況：10市町で16回開催

受講者等：387名

エ 飼い主を対象としたペットの災害対策研修会

大規模災害の発生に備え、飼い主とペットが安全に同行避難し、さらに、避難所等での生活を余儀なくされた場合を想定し、クレート（ケージ）順応訓練の方法、飼い主明示、ペット用食料の備蓄、室内飼育（猫）や不妊・去勢措置などの準備を周知することを目的として開催。

開催状況：12市町で14回開催

受講者：550名

オ 福祉部門との連携（再掲）

富士宮市の民生委員・児童委員などに、ペットに関する法律、飼い主の介護施設などへの入所に際して、ペットを取り残さないための対策や実際の事例等を説明し、今後におけるペット問題の予防策についての研修を実施。

開催状況：富士宮市 1回

受講者：30名

(5) 動物愛護ボランティアとの連携

ア 動物愛護ボランティアへの動物愛護チラシの配布

ボランティア活動を支援するため、地域猫活動、高齢者対策、災害対策など協会が作成したチラシを、希望するボランティアに配布し活動の支援を行った。

イ NPO法人への支援セミナーの開催

ボランティアに支えられる動物愛護活動を持続可能なものとしていくためには、組織基盤強化や資金調達が重要なポイントとなります。

このため、社会的信頼性を高めるために、NPO法人の設立から認定NPO法人になるための、手続き、メリット、その後の報告などのポイントについて理解することにより、今後の活動につなげていくセミナーを開催した。

日時 令和4年6月8日（水） 18：30～20：45

会場 オンライン

演題 「認定NPO法人への支援セミナー

～寄附を集められるように！！～

(6) 猫の適正管理推進モデル事業

ア 実施状況

予算を大幅に拡充して、「飼い主のいない猫」の問題が顕在化している地域（地区）を指定し、市町が地域の自治会・獣医師会・動物愛護ボランティア等と協働して、猫の不妊・去勢及び捕獲器の購入並びに適正飼養の推進・捨猫防止や環境美化など「地域猫」問題に取り組む事業の支援を行った。

指定市町・地区・支部 : 15市町 26地区 (9支部)

不妊・去勢措置実施頭数 : 387頭

その他 : 捕獲器、餌、ケージの購入など

(7) 「ポッチとニャンチの愛の伝言板」の設置・運営事業

ア 伝言板の利用実績

家庭で飼養している犬や猫等を譲りたい人と新しく飼いたい人との間で橋渡しを行う場を提供することにより、ペット動物の終生飼養と殺処分の減少につなげることを目的に実施した。

申込頭数 : 651頭 (犬 84頭、猫 557頭、その他 10頭)

成立頭数 : 277頭 (犬 29頭、猫 248頭、その他 0頭)

イ 伝言板の設置市町及び設置箇所

伊豆の国市で一か所、伝言板を増設したので、現在、伝言板設置市町は32市町、設置箇所は42カ所

(8) 市町会員、賛助会員の行う動物譲渡会 (新しい飼い主探し) への支援

会員の行う新しい飼い主探しのための譲渡会に対して、HPでの開催の案内、譲渡会へ職員の派遣などの支援を行った。

ア 静岡市 (猫)

開催回数 1回

トライアル頭数 14頭

イ トヨタカローラ静岡 (株) (犬・猫)

開催回数 (賛助会員加入後) 4回

トライアル頭数 21頭 (犬 : 10頭、猫 : 11頭)

(9) 動物保護管理指導員活動事業

ア 動物の保護及び管理に関する指導・助言

本協会が委嘱している動物保護管理指導員 (11支部 66名) が地域を巡回し動物による危害の防止や適正な取り扱い等に関する指導、地域住民からの不妊・去勢、飼い方や健康管理に関する相談に対応した。

実績 ・危険防止指導頭数 172頭 (犬 156頭、猫 16頭)

・生活環境の保全、飼い方指導件数

241件 (犬 118件、猫 121件、その他 2件)

・不妊去勢、新しい飼い主さがし、所有者明示の指導頭数

885頭 (犬 181頭、猫 697頭、その他 7頭)

など様々な指導を行うとともに住民からの相談に対応した。

イ 支部・市町への協力

各支部・市町の実施した様々な動物愛護事業に参加・協力した。

参加・協力実績 : 156回

(動物愛護教室 57回、動物ふれあい訪問活動 22回、ペット動物の災害対策 77回など)

(10) 動物愛護相談事業

事務局に寄せられた 270 件の様々な相談に対応した。その内容は、動物の譲渡、虐待防止、飼い主不明の猫の保護依頼、動物愛護ボランティア活動、多頭飼育問題についての質問など多様であった。

(11) 静岡県被災動物救護計画等推進のための事業

ア 地域の防災訓練等への参加

令和 4 年 7 月末からの感染者急増と 8 月 9 日からの静岡県「B A. 5 対策強化宣言」の発令、さらに、対策期間の 9 月 30 日までの延長により予定していた県内市町において地域防災訓練が縮小、中止なる事例が多かったが、そのような状況下でも、出来るだけ防災訓練に参加し、ペットの災害対策について広報した。

実績：開催地区数 7 市町、7 地区

広報対象人数 328 人

イ 「ペットの災害対策セミナー」の開催

災害時におけるボランティア活動をよりスムーズに行えるよう、現地に入ってボランティアを行うに当たっての覚悟、心構えなど、さらに、ボランティアは単独では行えないので、いかに行政を味方につけるかなど行政との連携について理解することにより、今後の活動につなげていくためのセミナーを開催した。

日時 令和 4 年 7 月 7 日（木） 18：00～20：15

会場 オンライン（熊本）

演題 「ペットの災害対策セミナー～スムーズな活動を行うために～」

ウ ペット動物災害対策チラシの配布

配布場所：県、保健所、市町会員 34 ケ所、動物保護管理指導員

印刷した啓発資材及び部数

・ペット動物災害対策(犬編) B 5 4,000 部

・ペット動物災害対策(猫編) B 5 2,500 部

2 動物の保護及び管理に関する事業

(1) 動物保護業務等受託事業

静岡県の委託を受けて、動物保護第 1 指導班（県東部保健所）、同第 2 指導班（県富士保健所）、同第 3 指導班（県中部保健所）、同第 4 指導班（県動物管理指導センター）が「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「静岡県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「静岡県動物愛護管理推進計画」に関する業務を実施した。

ア 受託業務の内容

- a 動物愛護管理の普及活動
- b 愛護動物の遺棄及び虐待の防止に関する指導及び措置
- c 犬の登録及び予防注射の督促
- d 犬の保護及び収容
- e 動物の適正飼育管理指導
- f 犬及び猫の引き取り
- g 保護した犬並びに引き取った犬・猫の返還及び管理

h 被災動物保護・救護体制の整備

i 保健所長及び動物管理指導センター所長が必要と認めた業務

イ 動物保護指導班業務実績

各指導班の日常業務の多くは様々な苦情処理に割かれているが、本年度は2,942件の県民からの苦情・相談などに対応した。犬に関しては「狂犬病予防法」に基づく登録・注射や鑑札・済票の装着を指導(5,532件)した。「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく犬猫を含む愛護動物に対しては、適正管理・所有者明示・無責任な餌やりに対する指導(12,044件)を実施した。

県民からの通報に基づく犬の保護・抑留は150頭であり、犬・猫の引取り頭数は、159頭(犬72頭・猫87頭)であった。

保護・引取りした犬猫のボランティア団体又は個人への譲渡頭数は、159頭(犬60頭・猫96頭)であった。

(2) 負傷動物等保護収容措置事業

静岡県に委託を受けて、公共の場所で負傷又は疾病に罹っている所有者不明の指定動物(犬、ねこ、いえうさぎ、鶏、いえぼと、あひる)の保護収容業務を実施した。

実績：195件(犬2、猫184、その他9)

指定獣医師：176名

(3) 静岡県動物管理指導センター週休日管理事業

静岡県動物管理指導センターに委託を受けて週休日・祝祭日における動物舎の清掃、動物の飼養管理、動管センター動物愛護館並びに動物ふれあい広場の管理、動物愛護事業の補助等の業務を実施した。

(4) 犬・猫適正飼養等相談業務

静岡県に委託を受け、所有者の判明しない犬・猫の引取り、子犬・子猫をゆずる会並びに犬・猫の譲渡等の業務を実施した。

ア 所有者の判明しない犬・猫に関する相談の受付、引取り、運搬及び収容業務

各地での巡回相談にて、動物の飼養についての相談を行うとともに、不要な飼い犬、猫の引き取り依頼については、飼えなくなった事情を確認し、終生飼養、新しい飼い主探しは飼い主の責任である旨、説明し理解を得た。

イ 「子犬・子猫をゆずる会」に関する業務

a 子犬・子猫をゆずる会の開催

開催回数：12回

譲渡動物頭数：28頭(子犬14頭、子猫14頭)

b 子犬・子猫をゆずる会における飼育講習会の開催

受講者数：69名

ウ 譲渡候補となる犬及び猫の育成・譲渡

実績：犬の譲渡頭数 60頭、猫の譲渡頭数 99頭

(5) 静岡市動物愛護館管理事業

令和4年度から5年間、静岡市動物愛護館の指定管理者となり、令和4年度は、下

記の事業を実施した。

ア 業務の内容

- a 動物愛護に関する講習会等の開催
- b 飼育相談
- c 動物ふれあい広場の開設
- d 施設・設備の維持管理
- e その他、市長が必要であると認める業務

イ 来館者

新型コロナウイルス感染症は、令和4年8月9日からの静岡県「B.A.5 対策強化宣言」の発令、さらに、実施期間が9月30日まで延長されたが、感染症対策を徹底し、当初計画の各種事業を実施した。

実績：令和4年度来館者数 10,993名

ウ 動物愛護に関する講習会等の開催

延べ14回開催し1,268名（大人1,176名・小中学生等92名）と159頭の動物の参加があった。

【主なイベントの参加人数及び参加動物頭数】

- ・ワンちゃんプール〈動物用プール〉（全5回 222名・114頭）
- ・ねこの日 ネコとふれあおう 65名
- ・ネコの譲渡登録会 54名

エ 飼育相談

施設の利用、伝言板・イベント・火葬に関する問い合わせなど、1,549件に対応した。

オ 体験学習（インターンシップ）の受入れ

毎年度、市内の中学・高校・専門学校などから体験学習として生徒・学生等を受け入れている。（全17回 学生 104名）

カ 動物の譲渡件数

実績 59頭（犬の譲渡 2頭、猫の譲渡 57頭）

(6) 静岡市動物指導センターにおける土曜日動物火葬受付業務

静岡市の委託を受け、静岡市動物指導センターにおいて、土曜日のペット動物等の火葬受付並びに取扱手数料の徴収事務を実施した。

実績：火葬受付件数 407件